

VI 智恵の「都」をつくる 20 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興 (116) 記紀万葉プロジェクトのこれから

これまでは

古事記成立(712年)から日本書紀成立(720年)の1300年後のゆかり事業を展開してきました。

① 学ぶ

- ・大古事記展(H26)
- ・鳥根県等と古代歴史文化賞選定(H26~R1)
- ・名所図会の作成(H23~H29)・各種シンポジウム(随時)

② 観る

- ・奈良まほろまん映像(H27) ・パネル展示(H24~R1)

③ 体験する

- ・記紀・万葉ウォーク(H24~H28) ・ヤマトナデシコ塾(H28)
- ・スマホゲーム「駅メモ」コラボ企画(H29)
- ・古都恋都ぐるめ(H29)

④ 遊ぶ

- ・古事記のまつり(H25~H30) ・古事記かるた(H25)
- ・日本書紀こども塾(H27~R1) ・日本書紀すごろく(H27)

古事記のまつり
(古事記こどもかるた大会)



古事記のまつり
(古事記朗唱大会)



もっと良くするために

集大成事業の実行(76百万円)

- ・日本書紀成立1300年特別展「出雲と大和」の開催(1~3月)
- ・記紀・万葉、大嘗祭、藤原不比等をテーマとする連続講演会開催(5月~12月)
- ・子どもを対象にしたイベント開催(7月)
- ・集大成事業のシンボルイベント開催(11月)

アフター記紀万葉プロジェクトを実行して、令和6年度に「飛鳥・藤原」の世界遺産登録を目指す。(25百万円)

- 2021年 聖徳太子プロジェクト
2022年 壬申の乱1350年前をふりかえる
2023年以降の歴史素材候補
- ・世界遺産「飛鳥・藤原」
 - ・遣唐使派遣をふりかえる
 - ・太安万侶没後1300年

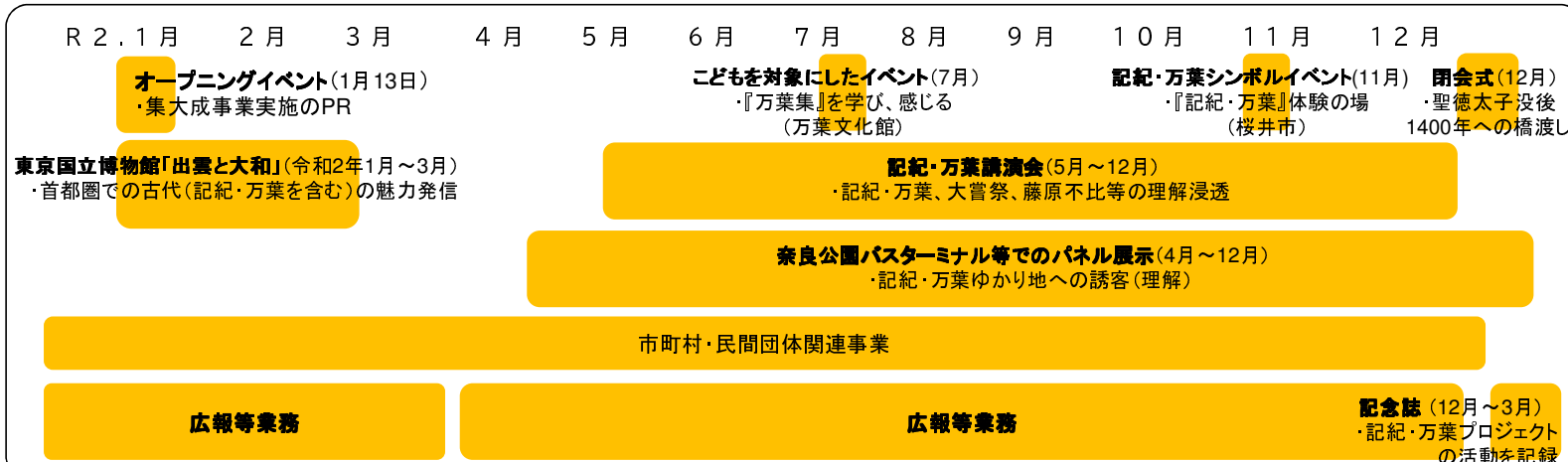
令和2年度予算案 101百万円

R2予算案 100,840千円

「記紀・万葉プロジェクト」の集大成 (76,000千円)

- ・2012年より取り組んでいる「記紀・万葉プロジェクト」の集大成として、日本書紀完成1300年にあたる2020年に、藤原不比等没後1300年を記念した事業などを実施
- ・この集大成年度に、それまでの8年間で培ってきた資産を活用し、奈良県ゆかりの記紀・万葉に関する歴史文化資源をストーリー化して訴求することで、県内の交流人口の増加と県外からの誘客増加につなげる

■事業スケジュール



関連事業 (24,840千円)

■聖徳太子プロジェクト

聖徳太子没後1400年を迎える2021年に向け聖徳太子を広く知ってもらうため、イベント等を実施

■古代歴史文化賞

古代歴史文化の豊かな奈良県・鳥根県・三重県・和歌山県・宮崎県が連携し、古代歴史文化に関する優れた出版物を表彰する「古代歴史文化賞」の記念講演会等を首都圏で開催(R3.2予定)

■全国高校生歴史フォーラム

奈良大学と共催し、全国の高校の歴史クラブ等が研究発表を競うフォーラムを開催(R2.11予定)

■「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向けた取組の推進

- ・登録協議会の運営
- 推薦書作成準備にかかる諸事業の実施
- 顕著な普遍的価値及び構成資産の検証等
- 情報発信、地元との協働、機運醸成を図る普及啓発



「飛鳥・藤原」を世界遺産に!

「飛鳥・藤原の宮都(きゅうと)とその関連資産群」は世界遺産登録を目指しています。

<問い合わせ先> 地域振興部 文化資源活用課 北野参事、辻課長補佐(内線2507、2530)

VI 智恵の「都」をつくる 20 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興 (117) なら歴史芸術文化村の活用策の検討

これまで

なら歴史芸術文化村は、令和4年3月の開村を目指しています。

<これまでの取組>

- 平成26年度
 - ・創設構想の公表
- 平成27年度
 - ・整備基本構想を策定 (施設コンセプト、機能等)
- 平成28年度
 - ・整備基本計画を策定 (施設機能、規模、整備工程等)
- 平成29年度
 - ・造成工事に着手
- 平成30年度
 - ・建築工事に着手
 - ・国の重点「道の駅」に選定
- 令和元年度
 - ・ホテル(フェアフィールド・バイマリオット)が進出を決定
 - ・施設の地下構造物の変動発生(修繕工事、工程見直しを実施中)



もっと良くするために

なら歴史芸術文化村の整備を進め、全国でも先駆的な歴史芸術文化活動の拠点とするため、活用策を精査・検討します。(3,034百万円)〔債務負担行為 356百万円〕



活用策と運営の取組

- 奈良が誇る歴史文化資源に触れ、また、質の高い文化芸術イベントを体験。
- 観光・産業振興等の取組と連携。
- この施設を核に、様々な取組が広がるよう、有識者や関係者などの意見を聴きながら、施設の運営や活用策について検討を進めています。

令和2年度予算案 3,034百万円〔債務負担行為 356百万円〕

R2予算案 3,034,000千円 [債務負担行為 355,856千円]

奈良の歴史文化や芸術文化に親しめ、生涯良く学び続けられる、歴史芸術文化活動の先駆的拠点として、なら歴史芸術文化村の整備を進め、文化芸術等の振興を図る

見る・知る・学ぶ・体験する

～「本物に触れる」ことで、「新たな視点・感性」が生まれる～

世界に誇る奈良の歴史文化に触れる

【見る・知る】

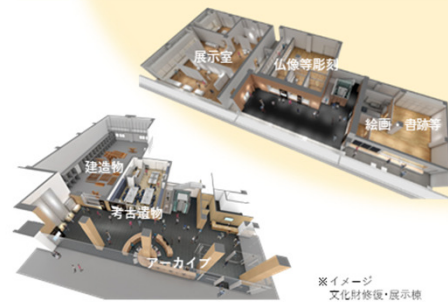
- ・文化財修復過程の公開保存継承の意義や技術の解説
- 建造物、考古遺物、仏像彫刻、絵画・書跡 など
- ・企画展の開催
- 修復した文化財の展示 など

【学ぶ】

- ・アーカイブコーナー
- 保存修復記録の集積 (修復図面・写真・映像・研究論集など)
- ・人材育成
- 文化財修復に係る講義・実習 など

【体験する】

- ・保存継承されてきた文化財とその修復技術を体感・体験
- 体感：さわれる出土品や仏像レプリカのハンズオン展示など
- 体験：修復作業や古代の製法(銅鑊、勾玉等) など



歴史が息づく環境で芸術に触れる

【見る・知る・学ぶ】

- ・アーティストとの交流
- 制作活動の公開、創作教室 など
- ・文化イベントの開催
- 文化セミナー・シンポジウム、伝統芸能公演(雅楽等)、音楽演奏会 など



【体験する】

- ・自由創作コーナー
- お絵かき、墨絵、造形など
- ・伝統工芸ワークショップ
- 奈良筆、奈良墨、吉野手漉き和紙 など



奥深い奈良の魅力に触れる

【味わう】

- ・県産食材料理教室
- ・農産物の直売、産直レストラン

【親しむ】

- ・伝統工芸品の展示・販売

【奈良を知り・巡る】

- ・県全域の歴史文化資源や観光などの情報発信



奈良の歴史芸術文化を通じ人々が集い・交流

①整備関係等 3,024,852千円
〔債務負担行為R3 355,856千円〕

[R2年度 主な整備内容]

- ・建設工事
- ・周辺整備設計
- ・維持管理費 等

②ソフト関係等 9,148千円

- ・プログラム展開事業 (大学連携の推進、プロモーションの展開、幼児向け体験プログラムの試行等)
- ・指定管理者選定審査会、コミッション等運営費

<問い合わせ先>

地域振興部

なら歴史芸術文化村整備推進室 森口主幹(内2510)

VI 智恵の「都」をつくる 20 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興 (118) 研究勉強活動の充実強化

これまで

奈良県庁の流儀のひとつは「**まず学ぶことから**」です。奈良県では、これまで各分野において、様々な研究会や勉強会を実施し、県政の発展に繋げてきました。

(例)

- ・なら歴史芸術文化村構想等検討委員会
- ・奈良県更生支援のあり方検討会
- ・奈良県と日本郵便株式会社との勉強会
- ・奈良県税制調査会
- ・奈良県総合教育会議
- ・国際問題研究所講演会

奈良県総合教育会議



奈良県税制調査会



もっと良くするために

今後も、様々な分野において研究会や勉強会を設置・運営し、その成果を県政の発展に活かします。(5百万円)

○テーマを設定し、有識者が参加した研究会や勉強会を立ち上げ、講師のレクチャー・対談・意見交換会の記録をとりまとめ、資料の作成、発送、発信などの事業を行います。

これからの研究勉強会のテーマ例

- ・奈良県更生支援のあり方検討
- ・奈良県教育振興大綱策定に向けた研究
- ・地方税制度について検討
- ・奈良県の地方政治を良くするための手法等を検討
- ・権考研新展開の検討
- ・奈良県土地利用基本計画の研究
- ・奈良県経済活性化の研究
- ・奈良県スポーツ振興、健康づくりの研究
- ・森林環境管理計画の構築
- ・奈良県植栽計画の推進
- ・なら歴史芸術文化村の活用

令和2年度予算案 5百万円

R2予算案 4,857千円

①奈良県更生支援のあり方検討会 (1,009千円)

出所者の円滑な社会復帰の促進について意見交換

検討内容：出所者の就労の場づくりについて 等

②奈良県総合教育会議 (2,711千円)

教育の振興に関する総合的な施策の推進にかかる協議を実施

協議内容：県の教育課題解決や教育条件の整備等の重点的に講ずるべき施策
児童生徒の生命または身体の保護など緊急事態への対処 等

③奈良県税制調査会 (487千円)

経済社会の構造変化に対応した地方税制度について検討・提言
政策目標を実現するための課税自主権の活用について検討・提言

検討内容：奈良県森林環境税、法人県民税特例制度について 等

④地方政治研究会 (650千円)

地方政治研究の第一人者を招いて勉強会を開催し、奈良県の地方政治を良くするための手法等を研究

研究内容：奈良県の地方政治のパフォーマンスを向上させるための課題研究
地域活性化につなげる地方政治のあり方研究 等

<問い合わせ先>

- ①福祉医療部 地域福祉課 石原参事(内線2820)
- ②地域振興部 教育振興課 山口課長補佐(内線2576)、③総務部 税務課 岡山主幹(内線2233)
- ④地域振興部 市町村振興課 松南課長補佐(内線2294)

VI 智恵の「都」をつくる 21 海外との交流展開 (119) 東アジア地方政府会合の充実発展

これまで

令和元年11月に第10回東アジア地方政府会合を開催。5カ国40地方政府が参加（テーマは社会保障と観光振興）

東アジアに共通する課題について実務レベルで議論し、交流を深める会議です。これまで地域振興、社会保障、観光振興、農業農村振興、人材育成などについて議論しました。

第10回会合の討議風景



会員地方政府間の交流



東アジア地方政府会合会員地方政府数は、7カ国72地方政府になっています。(令和2年1月現在)



中国(16)



韓国(8)



インドネシア(2)



マレーシア(1)



フィリピン(3)



ベトナム(5)



日本(37)

もっと良くするために

東アジアでのこのようなマルチでの地方政府会合は意味があります。奈良県はかつて東アジアの隣国から高度な文明をいただいたことに感謝の気持ちを持って充実発展に努めます。

東アジア地方政府会合の推進(24百万円)

- 第11回会合は、インドネシア西ジャワ州バンドン市での開催です。引き続き海外都市での開催を推進します。
- 国際関係機関(UNWTO、ERIA)や大学(県内外の大学、中国清華大学)の会合参加を進めます。
- 県内外に英文ブログ等で情報発信を行います。

西ジャワ州との会合開催の合意覚書締結



関係機関によるプレゼンテーション



東アジア地方政府とのネットワーク強化等(8百万円)

- 会合の開催を検討している会員地方政府との協議を進めます。
- 会合への新たな会員の加入を促します。

令和2年度予算案 32百万円

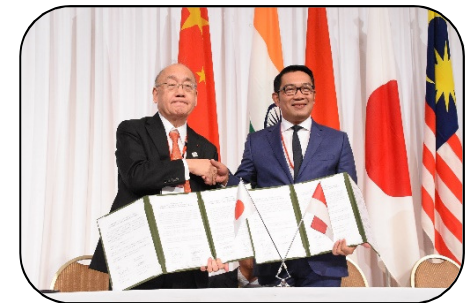
R2予算案 32,323千円

東アジア地方政府会合の推進(23,879千円)

- グローバル化が進む社会における地方政府の新しい役割を考えるため、東アジアの地方政府が地域の実情を踏まえ、課題を議論し、相互理解を深める第11回東アジア地方政府会合(インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市で開催)へ奈良県代表団を派遣

【R2(第11回)会合概要】

主催	インドネシア共和国西ジャワ州 東アジア地方政府会合事務局(奈良県)
開催地	インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市
日程	2020(令和2)年11月4日(水)~6日(金)
テーマ案	①科学技術の発展に伴う労働市場の変化と地方政府の役割について ②気候変動に対応する農業分野への地方政府の取組について
参加政府	会員地方政府(7ヶ国72地方政府)



【西ジャワ州との合意覚書締結】

- 東アジア地方政府会合の会員地方政府が主催する実務者レベルの勉強会の開催を支援
- 東アジア地方政府会合の開催趣旨・議論テーマに通ずるグローバル化社会における人材育成の観点により、日本アスペン研究所と連携したセミナーの開催を支援

東アジア地方政府とのネットワーク強化等(8,444千円)

- 会員地方政府との友好・信頼関係の増進や交流等さらなる充実に向け取組を実施
 - 会合の開催を検討している会員地方政府との協議
 - 新規加入招聘活動の実施、会合関連フォーラムへの参加

<問い合わせ先>

知事公室 国際課 秋本課長補佐(内線2536)

VI 智恵の「都」をつくる 21 海外との交流展開 (120) 既交流団体との交流強化、新たな交流団体との提携

これまでは

4つの地方政府・中国 陝西省(2011年から)
 ・韓国 忠清南道(2011年から)
 ・スイス ベルン州(2015年から)
 ・ベトナム フートー省(2014年から)
 と、1つの大学(中国清華大学2019年から)と友好提携を進めてきました。



お互いに学び合うという精神で交流を続け、有意義な実績がありました。

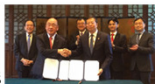
- ・スイスとの交流の結果、奈良県独自の森林環境管理制度が構築されます。
林業技術交流 (リース林業教育センター)
- ・学生交流、スポーツ交流、文化財保存技術の交流、林業技術の交流、高齢者・介護施策に関する交流などの交流が進んでいます。
ベルン応用科学大学等との意見交換(ベルン州)



もっと良くするために

学び合う姿勢で新たな分野での交流にも取り組めます。

- ・森林環境管理制度の構築のため、スイスのリース林業教育センターと交流(11百万円)
- ・次世代養成を目指した青年交流や、専門分野交流、経済交流など新たな交流(15百万円)
- ・(新)中国陝西省や韓国忠清南道との友好提携10周年記念を契機とした新たな交流(3百万円)
- ・(新)中国清華大学との文化、産業等の交流(9百万円)



清華大学との交流

新たな地方政府、団体との交流を進めます。

- ・(新)NAFICとBCC*(バスクカリナリーセンター)との連携推進(7百万円)
- ※BCC・・・スペイン・バスク地方にある世界的な4年制の料理専門大学校
- ・ウズベキスタン・サマルカンド州等との新たな友好交流(10百万円)

令和2年度予算案 55百万円

R2予算案 55,382千円

友好提携等を締結している4つの海外地方政府(中国陝西省、韓国忠清南道、スイスベルン州、ベトナムフートー省)や包括交流に関する覚書を締結した中国清華大学と、様々な分野での交流を進めるとともに、新たな団体との提携により、新たな人的交流・技術交流を促進し、相互にとって有益な交流を推進

① スイス・リース林業教育センターとの交流 (10,660千円)

スイスを参考に、新たな森林環境管理制度を構築するため、スイスのリース林業教育センターと交流、同センターからの実習生受入準備や同センターへの職員短期派遣を実施

② 友好提携地方政府への訪問団等の派遣・受入等 (14,992千円)

- ・中国陝西省へ国際交流及び異文化理解に関心のある青年を派遣
- ・スイスベルン州との高齢者分野等での交流のため訪問団を派遣

③ (新) 中国陝西省・韓国忠清南道との友好提携10周年記念 (2,862千円)

- ・2021年に、本県と中国陝西省、韓国忠清南道との友好提携10周年を迎えることから、両省道との友好・協力関係の更なる発展のため、2021年1月から10周年記念事業を実施
- ・令和2年度には、中国陝西省に友好交流団の派遣等を実施

④ (新) 中国・清華大学との交流 (9,062千円)

奈良県と清華大学との包括交流に関する覚書に基づき、双方の連絡調整・コーディネート機能を持つ窓口を設置し、交流事業を実施

⑤ (新) NAFICとBCCとの連携推進 (7,300千円)

美食の街で知られるスペインのバスク州サンセバスチャン市に所在する料理専門大学のBCC(バスクカリナリーセンター)と交流事業を実施

⑥ 海外地方政府との新たな友好提携推進 (10,506千円)

海外の新たな地方政府との交流を構築し、相互にとって有益となる交流を促進するため、ウズベキスタン・サマルカンド州等に訪問団を派遣するなど新たな友好提携を推進

<問い合わせ先>

- ① 農林部新たな森林管理体制準備室 東村課長補佐(内線3991)
- ②③④⑥ 知事公室国際課 杉村課長補佐(内線2151)
- ⑤ 農林部担い手・農地マネジメント課 喜多仲課長補佐(内線4022)